

平成24年第2回定例会 一般質問通告一覧表

| 氏名(受付日時) | 番号 | 質問事項 | 質問の具体的な内容 |
|----------------------------------|----|---------------------------|---|
| 1. 蜂須賀千雅 5月18日 8:30 | 1 | シニア世代の生きがい対策について | ① 現在までの取り組みについて ② シニア世代の就労の場を提供するシルバー人材センターの現状と課題、今後の取り組みについて ③ 老人クラブの現状と課題、今後の取り組みについて |
| | 2 | 災害時帰宅困難世帯の子ども達への対応について | ① 大災害発生時の東大和市民の帰宅困難者数とお迎えに来てもらえない可能性のある子ども達の人数について ② 大災害発生時、帰宅困難者世帯の子ども達に対しての必要な物資等の現状について ③ 各自個々に必要最低限の物資を準備させるなどの取り組みは出来ないか。 |
| | 3 | 公民館・市民センター・集会所施設の優先予約について | ① 現状、課題、今後の取り組みについて |
| | 4 | 第1回東大和市グルメコンテストについて | ① 今回の開催の結果を受けて得られた効果についてどのようにとらえて、今後の市のイベントに反映させていくのか。 ② 上位3団体が投票により「ご当地グルメ」の候補に決定をしましたが、今後はどのような活動を繰り広げていき、最終的にはどのようにして東大和市の「ご当地グルメ」を決定していくのか。 ③ 来年度の「東大和市グルメコンテスト」は今年度の反省点をふまえつつどのような形での取り組みを考えているのか。 |
| 2. 根岸 聡彦 5月18日 8:30 | 1 | 高齢者が元気に暮らせるまちづくりについて | ① 介護予防リーダーの位置づけについて ア 介護予防リーダー設置の目的は イ 介護予防リーダーの役割は ② 介護予防リーダー育成について ア 介護予防リーダー育成の成果は イ 育成に対する将来展望は ウ 介護予防リーダー育成における課題は ③ 介護予防リーダーに求める活動のあり方について ア 活動状況についてどのように認識しているか。 イ リーダーの活動に対するサポート体制は ④ 東大和元気ゆうゆう体操について ア 実施状況に対する市の認識は イ 普及の目的は ウ 普及に対する課題は |
| | 2 | 指定管理者制度について | ① 指定管理者制度の導入について ア その沿革は イ そのメリットとデメリットは |

| | | | |
|---------------------------|---|----------------------------|--|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ② 指定管理者の業務について <ul style="list-style-type: none"> ア 指定管理者が行うべき業務とそうでないものの違いは イ 指定管理者と行政との連携体制は ③ 指定管理者制度に関する東大和市としての今後の展望は |
| | 3 | 東大和市の文化財について | <ul style="list-style-type: none"> ① 市としての文化財の位置づけについて ② 市内にある文化財の活用について <ul style="list-style-type: none"> ア 観光目的としての活用に対する市の考え方は イ 学校教育・社会教育を目的とした活用に対する市の考えは ③ 旧日立航空機（株）変電所について <ul style="list-style-type: none"> ア 国内でも希少な戦争遺跡としてどのように認識しているか。 イ 現在の保存状態はどうか。 ウ 現在および今後の活用方法と将来的な展望は |
| | 4 | 東大和市の環境について | <ul style="list-style-type: none"> ① 狭山緑地について <ul style="list-style-type: none"> ア 狭山緑地の保全に対する支援体制は イ 狭山緑地の景観を守るための市としての対応状況は ② 放射能の除染について <ul style="list-style-type: none"> ア 線量測定の実施状況は イ 除染した土の保管状況は ③ アスベストについて <ul style="list-style-type: none"> ア 市内のアスベストを使用している建物について、市としてどのように認識しているか。 イ 公共の建物に使用されているアスベストの管理は |
| 3. 床鍋 義博 5月18日 8:30 | 1 | 東大和市の観光施策について | <ul style="list-style-type: none"> ① 今年度の予定、特に新たな施策について ② 恒常的に東大和市を宣伝するための施策について |
| | 2 | 東大和市駅前交差点の視覚障害者用音響付信号について | <ul style="list-style-type: none"> ① 設置目的について ② 利用状況について ③ 設置場所の適切性について |
| | 3 | 教育長の教育方針について | <ul style="list-style-type: none"> ① 基本方針および具体的な方針について ② 放射能に関する子どもへの対応について <ul style="list-style-type: none"> ア 文部科学省から配布された副読本について イ 給食の食材の安全性について |
| | 4 | P T Aから出された「市への要望書」の回答について | <ul style="list-style-type: none"> ① どのような流れで回答しているか。 ② 実態と回答が相反している場合はないか、特に3市共同資源物処理施設についての回答について |
| | 5 | 3市共同資源物処理施設について | <ul style="list-style-type: none"> ① 現状と今後について ② 廃棄プラスチックの処理について |

| | | | |
|--|---|------------------------|---|
| | 6 | 市内および近隣市の危険物の把握について | <p>① 市内にある施設の危険物の把握状況について</p> <p>② 近隣市、特に武蔵村山市にある国立感染症研究所について</p> |
| <p>4. 中野志乃夫</p> <p>5月18日</p> <p>8:40</p> | 1 | 自治体クラウドの検討について | <p>① 東大和市において自治体クラウドの検討をしたことはあるか。</p> <p>② 自治体クラウドの対象となる分野と対象自治体をどのように考えるか。</p> |
| | 2 | 行政文書の保存管理について | <p>① ファイリングシステム導入の意義は何か。</p> <p>② 保存期間の区分けの基準に問題はないか。</p> <p>③ 正規職員以外の業務記録を長期保存しない根拠は何か。</p> |
| | 3 | 介護・障害者事業における地域区分問題について | <p>① そもそも地域区分上、東大和市が著しく低い扱いになっているのを把握したのはいつ頃か。また、その当時どのような対応を国等に行ったのか。</p> <p>② 国が根拠としている国家公務員の地域手当の数值は正確なのか、調査したことはあるか。</p> <p>③ 本来加算されるべき率からして、市内の介護・障害者サービス事業所が損失している額は年間どの位になるのか。</p> <p>④ 福祉サービスを受けている市民のうち、市内事業者と市外事業者の割合はどのようになっているか。市内事業者でそれらの影響から撤退した事例はないか。</p> |
| | 4 | グルメコンテスト | 評価と今後の進め方についての見解を伺いたい。 |
| <p>5. 大后 治雄</p> <p>5月18日</p> <p>8:55</p> | 1 | 防災及び低炭素社会実現について | <p>① 公共施設・設備・備品について</p> <p>ア さらなる節電に関する方策は</p> <p>イ コージェネレーションシステムの導入促進に関するご所見は</p> <p>ウ 蓄電池の整備に関するご所見は</p> <p>エ 発電機の整備に関するご所見は</p> <p>オ スマート化に関するご所見は</p> <p>カ BEMS (Building and Energy Management System) の導入に関するご所見は</p> <p>キ 蓄電池内蔵信号設置に関するご所見は</p> <p>ク 公用車(4輪車)へのHV・PHV・EVなどのエコカー導入及び同電動2輪車導入に関するご所見は</p> <p>② 市民生活について</p> <p>ア 再生可能エネルギーの導入促進に関するご所見は</p> <p>イ コージェネレーションシステムの導入促進に関するご所見は</p> <p>ウ HEMS (Home Energy Management System) の導入促進に関するご所見は</p> <p>エ スマートグリッドに関するご所見は</p> <p>オ スマートコミュニティに関するご所見は</p> <p>カ HV・PHV・EVなどのエコカー導入及び電動2輪車等の導入促進に関するご所見は</p> |

| | | | |
|--|---|--------------------|---|
| | 2 | 産業振興について | <p>① 地域通貨について</p> <p>ア 概要は</p> <p>イ メリットとデメリットは</p> <p>ウ 他自治体の動向は</p> <p>エ 導入に関するご所見は</p> |
| <p>6. 御殿谷一彦 5月21日 15:36</p> | 1 | コンピュータシステムの災害対策と活用 | <p>① コンピュータシステムの災害対策について</p> <p>ア 庁舎内にあるサーバ機について</p> <p> a データ保管について</p> <p> b 運用継続について</p> <p>② 東大和市のホームページの災害対策について</p> <p>ア 情報発信機能としてのホームページの運用</p> <p>③ 積極的な情報発信機能としてツイッターの活用</p> |
| | 2 | 桜が丘地域の交通安全確保 | <p>① 市道814号線北側歩道の整備状況</p> <p>② 桜が丘北公園の角の交差点の安全確保</p> <p>ア 最近の事故の状況</p> <p>イ 当交差点の交通量予測</p> <p>ウ 信号機の設置で安全確保を求める。</p> |
| | 3 | 特例退職被保険者制度 | <p>① 国民健康保険の退職者医療制度について</p> <p>ア 退職者医療制度の該当者の把握と案内</p> <p>イ 退職者医療制度での当市の財政負担</p> <p>② 特例退職被保険者制度について</p> <p>ア 特例退職被保険者制度での当市の財政負担</p> <p>イ 特例退職被保険者への把握と案内</p> |
| <p>7. 実川 圭子 5月22日 10:48</p> | 1 | 教育長の方針について | <p>① 学校教育について、どのような方針で臨みますか。</p> <p>ア 基本方針について</p> <p>イ 重点的に取り組みを行う施策の優先順位について</p> <p>ウ 地域との連携はどのように考えますか。</p> <p>② 社会教育について、どのような方針で臨みますか。</p> |
| | 2 | 家庭ごみの減量について | <p>① 可燃ごみについて、減量の取り組みはどのようなものか伺います。</p> <p>ア 生ごみ処理について</p> <p>イ 剪定枝について</p> <p>② 戸別収集や有料化についての考えを伺います。</p> <p>③ 2Rの推進について</p> |
| | 3 | 自転車対策について | <p>① 自転車レーンについて</p> <p>② 自転車等の駐車対策に関する総合計画策定について</p> |
| <p>8. 東口 正美 5月23日 16:03</p> | 1 | 観光事業について | <p>① 市政において観光事業の目的と効果について、どのように考えていますか。</p> <p>② “これぞ東大和！”という地域ブランドになり得るものは、何だと考えますか。</p> <p>③ より具体的な市長のコンセプトを明確にすべきではないですか。</p> |

| | | | |
|----------------------------|---|-----------------------|--|
| | 2 | 多摩湖駅伝について | <p>① 伝統ある多摩湖駅伝の淵源についてお聞かせください。</p> <p>② 第22回多摩湖駅伝について伺います。 ア 今大会での新たな取り組みについて イ 今後の課題について</p> <p>③ 優れたランニング環境である多摩湖周辺を活かした“多摩湖ラン”推進のために、取り組めることがありますか。 ア 周辺環境の整備について イ ランニングコースマップの作成は ウ 市民ランナーへの情報発信は</p> |
| | 3 | 高齢者ほっと支援センターについて | <p>① 高齢者ほっと支援センター（地域包括支援センター）の機能・役割について伺います。</p> <p>② 本年4月より、清原・南街・芋窪の3カ所体制になった、目的と効果について伺います。</p> <p>③ ほっと支援センターと、高齢者をつなぐ体制について伺います。 ア 利用方法と、現在の利用状況はどのようになっていますか。 イ 社協や民生委員など、地域との連携はどのように図られていますか。</p> |
| | 4 | 学校の防災対策について | <p>① 学校校舎、体育館の非構造部材の耐震化にどのように取り組んでいきますか。</p> |
| 9. 中間 建二 5月24日 13:55 | 1 | 学校給食センター建設に向けての課題について | <p>① 建設に向けての準備はどこまで進んでいるのか。</p> <p>② 桜が丘市民グラウンドが狭くなることへの対策をどのように検討しているか。</p> <p>③ 桜が丘市民グラウンドや学校の校庭に夜間照明の設置を検討しているか。</p> |
| | 2 | 地域防災計画について | <p>① 東京都の新たな被害想定を発表を受けて、地域防災計画にどのような修正を加えていくのか。</p> <p>② 被害想定に基づいて、実際に即した防災訓練の充実に取り組む必要があるのではないか。</p> <p>③ 都立東大和南公園を中心とした防災訓練の実施を検討しているか。</p> <p>④ 自主防災組織の整備の状況はどうなっているか。</p> <p>⑤ 他の自治体との災害協定等の締結の見通しについて</p> |
| | 3 | 行政評価による行政改革について | <p>① 全事務事業評価の実施と公表の状況について</p> <p>② 行政評価のPDCAサイクルをどのように図っていかれるのか。</p> <p>③ 行政サービスコストの計算と公表について検討しているか。</p> |
| | 4 | 特定健診、特定保健指導について | <p>① 受診率の状況と向上策はどうなっているか。</p> <p>② 特定健診を受けた方に市民体育館の利用券を配布することで、受診率の向上と健康づくりの推進を図ることができるのではないか。</p> |

| | | | |
|--------------------------------------|----------|-------------------------------|---|
| <p>10. 佐竹 康彦 5月24日 15:42</p> | <p>1</p> | <p>市内通学路の交通安全対策及び防犯対策について</p> | <p>① 市内通学路の交通安全対策について ア 過去10年間における市内通学路での登下校中の事故の状況について伺う。 イ 通学路の交通安全対策に関するこれまでの市の取り組みとその成果について伺う。 ウ 今後の課題及びその解決策について伺う。あわせて、通学路の入念な安全点検と改善を要望したいが、どうか。</p> <p>② 市内通学路等の防犯対策について ア 過去10年間における通学路を中心とした市内各所において、児童・生徒及び未成年者が被害者となった犯罪の状況について伺う。 イ 市内の児童保育施設・公園・学校施設と通学路などにおける市の防犯対策の取り組みとその成果について伺う。 ウ 今後の課題及びその解決策について伺う。あわせて、防犯対策の一環として、「街頭緊急通報システム（スーパー防犯灯）」や「子ども緊急通報装置」の導入を要望したいが、どうか。</p> |
| | <p>2</p> | <p>市内の産業振興について</p> | <p>① 市内の個人商店および中小企業の育成について ア これまでの取り組みとその成果について伺う。 イ 今後の課題とその解決策について伺う。 ウ 産学官での地域連携について伺う。特に、市内には中小企業大学校がある。ここと連携をして、市内の産業振興のための新たな対策を実施することを要望したいが、どうか。</p> |
| | <p>3</p> | <p>学校図書館について</p> | <p>① 学校図書館における廃棄基準について ア 学校図書館に蔵書されている図書資料の内容について伺う。 イ 市として廃棄基準が明確に規定されているかどうかについて伺う。</p> |
| | <p>4</p> | <p>子ども読書活動推進計画について</p> | <p>① 子ども読書活動推進計画の策定状況について ア 策定の進捗状況について伺う。 イ 今後の展望について伺う。</p> |
| <p>11. 二宮 由子 5月24日 15:54</p> | <p>1</p> | <p>障害者相談員制度について</p> | <p>① 現状及び対応は ② 他市の状況は ③ 今後の課題は</p> |
| | <p>2</p> | <p>交通安全対策について</p> | <p>① 現状及び対応は ② 東大和市交通安全計画について ア 計画の成果及び検証は イ 施策推進の取り組みは ③ 今後の課題は</p> |
| <p>12. 和地 仁美 5月25日 8:36</p> | <p>1</p> | <p>東大和市の学校教育について</p> | <p>① 東大和市の小中学校における現状の把握と課題、今後の取り組みについて ア 基礎学力について a 現状とその教育委員会の認識は b 今後、到達したい目標ならびにビジョンは c 上記bを達成するための具体的な取り組みと計画について</p> |

| | | | |
|-------------------------------------|----------|----------------------------|--|
| | | | <p>イ 小・中一貫教育について</p> <p>a 小・中一貫教育についての教育委員会の認識について</p> <p>(1) メリットは</p> <p>(2) 当市における問題点は</p> <p>b 小・中一貫校の設置の検討について</p> <p>ウ 学校の統廃合について</p> <p>a 生徒数などの違いによる各校の状況の違いについての現状把握について</p> <p>b 学校統廃合の影響について</p> <p>(1) メリットは</p> <p>(2) デメリットは</p> <p>(3) (1)(2)を把握したうえでの当市としての方向性は</p> <p>エ 東大和市ならではの教育の取り組みについて</p> <p>a 当市ならではの教育の取り組みを行う可能性について</p> <p>b 学校単独の取り組みと全市あげての取り組みについて</p> <p>(1) メリットは</p> <p>(2) デメリットは</p> <p>オ 新教育長のもとでの教育委員会のその他の取り組みについて</p> <p>a 上記以外の教育課題の有無、また、取り組みの優先順位は</p> <p>b 教育の充実がもたらす市の活性化の可能性についての認識は</p> <p>c 当市教育委員会の考える教育のありかたについて</p> |
| <p>13. 押本 修 5月25日 10:42</p> | <p>1</p> | <p>青梅街道(大和通り)の道路整備について</p> | <p>① 東京都の道路整備(歩道拡幅工事)が進む中で、集中降雨時の道路冠水を防ぐべく、雨水排水管の改善も同時に進める必要があると考えるが、東大和市としての考えは。また、東京都とはどのように調整していくつもりなのか。</p> <p>② 東京都が数カ年かけて南街四丁目交差点から庚申塚交差点までの歩道拡幅工事を実施するにあたり、歩道のカラー化は必須と考える。 現状では東京都にはカラー化の予定はなく、カラー化のためには要望を出す必要があると聞いている。東大和市としての考えは。</p> <p>③ 歩道拡幅工事の際には、現在60本設置してある大和通り共栄会所有の街路灯の移設が必要となる。街路灯の移設費用は1本あたり10~13万円と見積もられており、総額では600万円以上かかることになる。今年度現在の大和通り共栄会の積立金は400万円あるが、200万円強の不足が生じる。東大和市として補助の考えは。</p> <p>④ 大和通り(青梅街道)整備要望3項目中、今回先行して整備が実施される歩道の拡幅以外の2項目(電線の地中化、街路樹の植樹)について、実現に向けて東大和市としてはどのように東京都と調整されるつもりなのか。</p> |

| | | | |
|----------------------------|---|---|---|
| | 2 | 給食センター建設計画について | ① 桜が丘のグラウンドを一部分であっても潰して建設することには反対です。 再度、建設予定地となった理由について、誰もが納得する説明をお願いします。 ② 他の市有地の利用については、どのような検討がされたのですか。 |
| | 3 | 交差点について | ① 東大和市駅前交差点における、歩車分離式信号機導入後の状況について |
| 14.尾崎 利一 5月25日 10:50 | 1 | 道路占用料の大幅値下げなど大企業の負担軽減と市民負担増に反対し、市民の暮らしを守る市政への転換を求める。市民の暮らしの実態と市財政について | ① 年金支給削減、年少扶養控除撤廃等による増税や後期高齢者医療保険料、介護保険料値上げなどが強行され、さらに消費税増税や社会保障の切捨ても計画されています。市民の暮らしと地域経済の実態を市はどうとらえているか、伺います。 ② 第4次行革大綱では、今年度、下水道使用料、国民健康保険税、保育料、学童保育所育成料、その他使用料、手数料の見直しが計上されています。 ア その他使用料・手数料については見直すための会議の設置がうたわれていますが、この会議の構成と対象となる使用料・手数料について伺います。 イ それぞれの見直しについて、どのような視点、どのような項目について見直すのか伺います。 ウ 市民の暮らしの実態を鑑みれば、負担増は避けるべきと考えますが、見解を伺います。 ③ 市は、今年度から道路占用料の値下げを実施しています。年間7874万9千円から5506万6千円に、2368万3千円の減収となります。市の答弁によれば、値下げの恩恵を受けるのは、東京電力が125万7千円、東京ガスが1186万7千円、NTTが1055万9千円の3社だけです。 ア 市長は市財政が厳しいといいながら、なぜ大企業3社のみこのような大幅値下げをしたのですか。 イ 道路占用料については道路管理者の自主裁量権を発揮して一層の増収をはかることをはじめ、市民負担にならない財源確保にこそ努めるべきではないですか。 ④ 一方で市財政が厳しいとって市民負担増をもとめ、他方で大企業の負担削減をすすめる市長の姿勢は理解できません。市財政の現状について、市長の見解を伺います。 |
| | 2 | 桜が丘4丁目開発について | ① 現況と市の対応について伺います。 |
| 15.西川 洋一 5月25日 11:19 | 1 | 原発に頼らないエネルギー問題に、市も積極的に取り組むことについて | ① 福島第一原子力発電所の事故から市民の暮らしを守ることにについて伺います。 ア 福島第一原子力発電所の事故は、いまなお終息せず、多くの被害者が、原状に復帰できていません。遠く離れた当市にまで被害が及びました。原発は安全なものではなく、未確立の技術によって稼働していました。二度と事故を起こさ |

| | | | |
|-----------------------------|---|--------------|---|
| | | | <p>せないために、…それは原発からの撤退しかありませんが…市としても発言をしていくべきではありませんか。</p> <p>いわゆる風評被害も含め、被害に対する補償を東電に取らせるべきですが、その取り組みはどうなっていますか。</p> <p>イ 放射能被害から市民を守る取り組みについて</p> <p> a 検査を希望する市民が持ち込んだ検体を測定すること</p> <p> b 放射性物質の除去について、施策を強化することを求めます。</p> <p>ウ 未来を担う子どもたちに、原発事故や放射能が健康に及ぼす影響をどう教えますか。</p> <p>② 太陽光発電など自然再生エネルギー利用設備設置への助成をすることなど、市の取り組みについて、3月議会に引き続いて伺います。</p> <p>核兵器廃絶への取り組み及び平和施策のより一層の充実を求めます。</p> <p>① 核兵器廃絶に向けて、市の取り組みを強めること。</p> <p>② 平和市長会議の活動を推進すること。</p> <p>③ 広島・長崎の被爆体験を伝えること。</p> <p>④ 平和祈念式典へ市民を派遣すること。</p> |
| 16. 関野 杜成 5月25日 11:32 | 1 | 保育について | <p>① 現状の待機児数や問題点</p> <p>② 今後の保育行政の予定</p> <p>③ 入園申込時の申請書類とその実情の確認の方法</p> <p>④ 今後の大規模開発への対応</p> |
| | 2 | ちょこバス | <p>① 現在の状況と問題点</p> <p>② 今後5年間の予定と必要経費</p> <p>③ 今後の考え方</p> |
| | 3 | 地域コミュニティー | <p>① 市長の考えるコミュニティーの必要性（災害時要援護者対策など）</p> <p>② 現状の問題点</p> <p>③ 市長のビジョン</p> <p>④ ビジョン達成までの施策</p> |
| | 4 | フィルムコミッション | <p>① 12月議会からの進展と今後の方針</p> |
| 17. 森田 真一 5月25日 11:40 | 1 | 木造住宅の耐震化について | <p>東大和市地域防災計画（平成24年3月修正）が発表されました。木造住宅の耐震化の推進について、以下伺います。</p> <p>① 木造住宅の耐震化は、まず市民の生命を守り、発災後の諸課題を考え合わせると防災計画上で重要な課題であると考えます。市の認識を伺います。</p> <p>② 木造住宅の耐震診断・耐震改修助成について</p> <p> ア 直近の利用状況と利用戸数・利用率は</p> <p> イ 推進にあたっての当面の課題は。また、目標到達の見込みはどのように考えていますか。</p> |

| | | | |
|--|--|---------------------|---|
| | | <p>2 生活保護行政について</p> | <p>③ 推進のための費用負担の軽減や啓発活動の工夫は</p> <p>④ 旧耐震基準で作られている木造集合住宅の所有者・賃借人への情報提供と支援について</p> <p>ア 市内にある旧耐震基準で作られている木造集合住宅の所有者へ耐震診断・耐震改修を求めることはされていますか。</p> <p>イ 所有者が診断・改修を行っていない場合、賃借人が転居などを検討できるよう情報提供や転宅資金の貸し付けあっせんなど支援の制度は検討できませんか。</p> <p>⑤ 家具転倒金具取付け助成事業について</p> <p>ア 一般向けの事業は昨年単年度で終了しましたが、今後は必要性などどう考えていますか。</p> <p>イ 普及啓発のために使用の実感をつかみやすい実物展示を市民センターなど身近なところでできないでしょうか。</p> <p>⑥ 建て替え困難な条件での代替策について</p> <p>ア 耐震改修に準じて耐震シェルター・耐震ベッドの普及をする自治体もあります。市でも補助対象に加えることはできませんか。</p> <p>イ 所有者の年齢や資金調達力から見て建て替え困難な場合、そのままにせず、住宅の除却費用の助成をし、転宅により危険な状況を回避する方法もあります。市でも補助対象に加えることはできませんか。</p> <p>⑦ 耐震診断・耐震改修の費用助成はこれまで国の交付金と市の一般財源でまかなわれてきました。現在、都は新たに始めた緊急輸送道沿道建築物等耐震化促進事業にのみの補助に留まっています。今後都に助成の拡充を求める考えはありますか。</p> <p>市民の平均年収はこの3年間で26万円近くも減り、雇用環境も極めて厳しくなっています。市民生活の実態を考えれば誰もがいつ生活保護を利用しなければならないことになっても決して不思議ではありません。生活保護制度が、最後のセーフティーネットとして国民全体の安心の拠り所となり、真に必要なとされる市民に適正に支援の手が届くように努めるべきと考えます。そこで、</p> <p>① 生活保護の現状と課題について伺います。</p> <p>② いくつかの市では受付カウンターに申請書を置いて、誰でも申請を行い審査を受ける権利があることを明らかにしているところもあります。当市ではいかがですか。</p> <p>③ 稼働年齢層の生活保護受給者の中には自立のため就労継続をしている方が少なくありませんが、就労環境によっては自営など労働が即収入増に結びつかずかえって経済的に行き詰まり生活が安定しないケースも見受けられます。いくつかの自治体ではこのような困難を抱える受給者などにパーソナルサポートと呼ばれる支援策を行っていますが、当市では現在どのような就労支援が行われていますか。</p> |
|--|--|---------------------|---|

| | | | |
|-----------------------------|---|---|--|
| | | | ④ また、その様なケースでは次の支給日までに半月近くあるのに生活費が底をつくというケースも出てきます。指導指示は適切に行うとして、子ども等の家族の生命に関わってくる場合も考えると当面防災備蓄品の入れ替え品の提供など保護費の計算に抵触しない形での応急の支援策を取る事などができないものかと思いますが、いかがですか。 |
| 18. 中村庄一郎 5月25日 11:42 | 1 | まちづくりについて (公園、緑地保全、安全・安心、観光とイベント、産業振興、教育、住宅環境) | ① 公園や運動施設についての現状と今後の課題 ② 緑地の保全についての現状と今後の課題 ア 開発と緑地の保全のあり方について ③ 安全・安心について ア 消防団の現状と今後の課題 (活動内容、装備、報酬等について) イ 防犯、防災の地域の団体等との協力体制と協定の現状と今後の課題 ④ 観光とイベントのまちおこしについて ア 市の考え方と現状、今後の課題 イ 商工会、農協、交通機関、市内団体等の連携の現状と今後の課題 ⑤ 市内産業の振興について ア 商工業、農業の現状と今後の課題 イ 用途地域の現状と今後の課題 ⑥ 教育について ア 中学生のダンスの授業について ⑦ 住宅環境について ア 市営住宅の現状と今後の課題 イ 生活文化都市としての現状と今後の課題 |